

|       |                                                                                                                  |       |       |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| クラス番号 | 610                                                                                                              | 担当教員名 | 堀場 純矢 |
| テーマ   | 社会的養護における子ども・家族への支援と職員の働き方                                                                                       |       |       |
| 著書・論文 | 主著・論文：「児童養護施設における小規模化の影響：職員の労働環境に焦点を当てて」<br>『生協総研賞・第14回助成事業研究論文集』生協総合研究所, 2018年.<br>『子どもと福祉』vol.11, 明石書店, 2018年. |       |       |
| 研究課題等 | 『日本の児童養護と養育研半世紀の歩み』福村出版, 2017年ほか<br>研究課題：児童養護施設で過ごす子どもと親の生活問題、児童養護施設職員の労働問題                                      |       |       |

## ゼミナール概要

キーワード：社会的養護、児童養護施設、子どもの貧困・虐待、子ども・家族への支援、職員の働き方

### 目的、内容、方法等：

近年、厳しい社会状況のなかで、子どもの貧困や虐待が深刻化しています。そのようななか、社会的養護（乳児院・児童養護施設など）では、政策的に小規模化・地域分散化（以下、小規模化）や家庭養護が推進されています。また、児童養護施設（以下、施設）の小規模化が進むなかで、家庭的な環境が保障される一方、ユニットごとに少人数の職員が分散して勤務することにより、子どもとのかかわりや職員の働き方が大きく変化しています。さらに、「新しい社会的養育ビジョン」（2017年）と「都道府県社会的養育推進計画」（2018年）によって、家庭養護の推進とともに、児童養護施設の高機能化・多機能化が進められています。

そこで、このゼミでは、こうした政策動向を現場実態に即して検討するとともに、①親が子どもを虐待するに至った背景に何があるのか、②社会的養護において、子ども・家族をどのように支援していくか、③職員が安心して働き続けるためにはどのような条件が必要かなどについて学んでいきます。そのため、全国児童養護問題研究会全国大会・学内学会・こどものしごとフェスティバルなどに参加し、施設職員や施設経験者との学習・交流をとおして、社会的養護について体験的に理解を深めます。なお、2019年6月の全国児童養護問題研究会全国大会は、岐阜聖徳学園大学で開催されます（2020年度は愛知県内で開催予定）。

その他、希望者を対象に、先駆的な実践をしている児童養護施設の見学（例：京都、福井など）も行っています。ゼミではこれらの活動をとおして、卒業論文（以下、卒論）を完成させるとともに、将来、社会的養護で働くために必要な知識を身につけることを目的としています。

### 授業計画：

3年生の前期は、学生同士の交流を行った後、社会的養護に関するテーマごとにグループ分けを行い、グループ・報告・討議を行います。それと並行して、5月～6月に開催されるこどものしごとフェスティバル、学内学会、全国児童養護問題研究会全国大会（2019年は岐阜）などに参加するとともに、グループごとに施設見学を行います。後期は、夏休みの課題に関する報告を行った後、社会的養護に関する書籍・専門誌（2018年度は『子どもと福祉』vol.11、購入補助有）をもとに、レジュメの作成・報告・討議などを行った後、卒論に向けての個別発表なども行います。4年生の前期は、卒論の執筆・添削を行うとともに、ゼミで定期的に卒論に関する報告会などを行っています。そして、後期の初回に卒論の下書きを提出し、その後、添削や修正などを経て、卒論を完成させます。

※ゼミを希望する学生はエントリーシートに、①現在、関心を持っているテーマと概要、②卒業後に考えている職業（現段階）についても記載して下さい。また、図書館にある『日本の児童養護と養育研半世紀の歩み』（福村出版）、または2階・雑誌コーナーにある『子どもと福祉』vol.11（明石書店）を事前に読んでおいてください。

## 担当教員からのメッセージ



担当教員は児童養護施設の元職員です。このゼミは、①積極的に仲間と議論し、主体的に学ぶ姿勢のある学生、②将来、乳児院・児童養護施設・児童心理治療施設・母子生活支援施設などの児童福祉施設職員、公務員（福祉職・保育職など）として働きたいと考えている学生、③全国児童養護問題研究会や施設のボランティアに積極的に参加したいと考えている学生を歓迎します。メリハリのある、楽しいゼミにしましょう。